



理念 患者さま一人ひとりを大切にする医療を目指します。



「新しい病院づくり」への船出

院長 重田 みどり

昨年12月に当院で開催された市民公開講座では、多数の方にご出席いただき誠にありがとうございました。熱心にお聞きになられている様子から、市民の皆様への健康への熱い思いが伝わってきました。

四街道市は健康を軸とした住みよい街を目指し、四街道市と千葉大学予防医学センター及び岩淵薬品(株)との間で、「健康まちづくり等の政策評価及び社会疫学研究に関する研究協定」を昨年11月に締結しまし

た。この協定は、各種データに基づく健康リスク・健康長寿の要因分析および健康まちづくりに向けた施策などについて共同で調査研究に取り組むものです。

四街道市が「健康まちづくり」を推進するように、当院も職員の幸福をめざして本年を「新しい病院づくり」への船出の年にしたいと思います。環境が良くなると住んでいるだけで健康になれるように、当院も働いているだけで幸福度が上がるような病院になることをめざしていきます。患者さまに満足してもらえる医療を行うためにも、まず職員が健康で幸せを感じられる場所で働いてもらいたいと思います。

下志津病院は市民の皆様の健康を守り、誰もが安心して健やかに暮らせる「健康まちづくり」の一翼を担えるように精進して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

Index

下志津病院の抱負	2・3
永年勤続表彰	4
ボランティア表彰式	4
市民公開講座	5
薬剤部だより	6
職場紹介	7



下志津病院の「抱負」

医局

四街道市民の健康を守り、皆様に満足してもらえる医療を目指します。

教育担当

患者さま一人ひとりを尊重し、思いやりのある心豊かな向上心に満ち溢れる看護師の育成を目指し前進していきます。

看護部 (感染対策チーム)

全職員が、全患者さまと職員のために、自然に、楽しく、感染対策を実践できる病院を目指します。

また、WHOの手指衛生多角的戦略の普及を通じ、地域の感染対策の向上に努めます。

医療安全管理室

当院の理念「患者さま一人ひとりを大切にする医療」の理念に基づき、患者さまの立場になって、安心して安全な医療を受けられる環境を整えられるよう、活動をしていきます。

一般病棟

患者さまと、ご家族にとって、安全・安心な療養生活を送っていただける病棟となるよう、スタッフ一同、看護の向上に取り組んでまいります。

筋ジストロフィー病棟

安全・安心な看護を心掛け、難病を抱える患者さまに常に寄り添い、地域の皆様からも信頼される病棟運営を目指します。

重症心身障害病棟

患者さま一人ひとりの個性を大事に考え、有意義で安全・安心な療養生活を送っていただけるよう、医療的ケアと療育活動の充実を目指します。

外来

地域の皆様の、在宅における QOL（生活の質・生命の質）を尊重した療養生活を支えることができるよう、外来看護の質向上を目指します。

手術室

安全・安心な手術が受けられる環境を作り、地域の皆様が「当院で手術を受けることができ本当によかった」と、そう思える手術室看護が提供できることを目指し、日々努めてまいります。

薬剤部

患者さまが安全で良質な医療を受けられるように、正確な薬の調剤・調製を行い、薬の適正使用を支援いたします。また、患者さまの立場になって服薬説明を行います。

放射線科

患者さまに安全・安心な医療を提供して参ります。特に放射線検査を受ける患者さま、他職種との“つながり”を大事にし、コミュニケーションを深めチーム医療を実践します。

栄養管理室

本年もスタッフ一丸となって、美味しい食事の提供に努めます。栄養管理を充実させ、皆様に健康と食事の楽しみをお届けできるよう頑張ります。

地域医療連携室

患者さまが入院中や退院後のことを安心して相談できるよう、優しく丁寧な対応に努めてまいります。心配なことや困ったことがありましたら、遠慮なく気軽にお声かけください。

療育指導室

重い障害を持つ方やご家族に寄り添い、日常が少しでも幸せであるように、生活と福祉の視点から支援します。病院全体を盛り上げていきます。笑顔いっぱいでありますように！

医 事

私たち医事部門は単なる事務作業ではなく、患者さまに接する最初の窓口として、丁寧で気持ちの良い対応を心掛け、患者さまに寄り添い安定的で良質な医療サービスを提供できる「カスタマーアシスタント」として日々業務を行ってまいります。

臨床検査科

安全・安心に質の高い検査を提供し、患者さまの満足度向上に取り組みます。そのためには、病院スタッフとの連携を取り迅速かつ正確な検査結果を提供するよう努めていきます。

リハビリテーション科

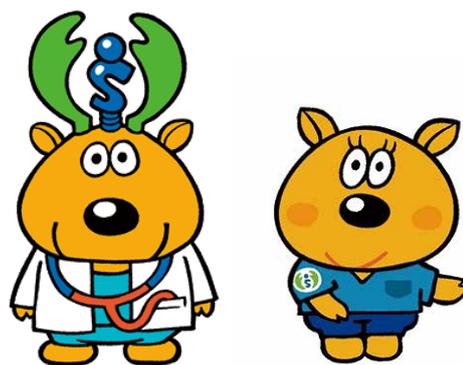
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士の4職種で、患者さまの心と身体に寄り添い、質の高いリハビリテーションを提供できるよう努めてまいります。

医療機器管理室

医療機器の安全を守るために、適切な保守点検を行い、患者さまへ良質な医療機器をお届けられるよう努めます。また、他部門と連携し患者さまが安心できる医療を提供できるよう心がけます。

医師業務支援室

医師事務。よく知られていない部門ですが、当院診療業務が滞らないように、日々奔走しています。本年もまごころとより一層信頼いただけるお手伝いに力を尽くします。





永年勤続表彰



臨床検査技師 松岡 幸恵

この度、永年勤続表彰を頂き、誠にありがとうございます。

下志津病院では2度の産休・育休を取得させて頂き、育児時短を利用し勤務しております。これまで勤務を続けられたのは、制度を作り、利用できる環境を整えてくださった諸先輩方や、家族、一緒に勤務する職員の方々への支えと協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

入職以来、多くの出会いと様々な経験、臨床から学びの多い20年でした。

先輩方が経験された、「育児と医療従事者としてのスキルアップの両立」は、やはり大変ですが、今後も感謝の気持ちを忘れず、そして、後に続くスタッフの方々にも制度を利用しやすい環境を提供できるように頑張りたいと思います。

30年表彰

前・療育指導室長	吉田 誠
運動療法主任	村山かをり
看護師(7病棟)	山崎香代子
調理師	今井 隆雄

20年表彰

副臨床検査技師長	渡辺 力
看護師長(1病棟)	宮下恵美子
看護師長(2病棟)	佐藤 孝宏
臨床検査技師	松岡 幸恵
保育士	阿部 光子
調理師	須永 統豊



ボランティア表彰式



保育士 沼倉 晃子

新型コロナウイルス感染症が流行した為、中止していたボランティア表彰式・懇談会が令和5年10月13日に4年ぶりに開催されました。

表彰式は園芸ボランティア、裁縫ボランティアの3名の方が表彰されました。

3名とも長年活動されている方で10年以上活動されている方もいらっしゃいました。

懇談会は久しぶりに患者さまとボランティアさんとリモートでお話をして盛り上がり、患者さまの元気な姿が見られて嬉しかったとの声が聞かれました。また、ボランティア活動について思うことを話して頂き、ボランティアさんから「人に役立つことがしたいと思って始めた」「患者さまからパワーをもらっている」「新しいボランティアさんが来てくれると嬉しい」など貴重なご意見、ご感想を頂き、有意義な会となりました。

コロナ禍前のボランティア活動は多岐にわたり、令和元年度は延べ人数1317人、2998時間と多くの方々に活動して頂いておりました。今現在は園芸や裁縫など間接的に関わっていただく活動のみとなっておりますが、感染症の流行が落ち着き、コロナ禍前のように多くの方に活動して頂ける日が来ることを願っております。



市民公開講座を開催しました!!

- 開催日：令和5年11月1日(水) 14:00～15:00
- 開催場所：四街道市保健センター
- 主催：下志津病院・四街道市

下志津病院では四街道市と協力し健康づくり講演会として、「お腹の中の話」としたテーマで市民公開講座を開催しました。長谷川留魅子外科医長を講師に迎え、腹部臓器についての画像検査結果について、疑問・質問のある方々にご参加いただきました。

参加人数は63名で四街道市の実習生4名も飛び入り参加し、会場はいっぱいとなり盛況の内に終了しました。今後も様々なテーマで開催する予定ですので、是非ご参加ください。



- 開催日：令和5年12月15日(金) 14:00～15:30
- 開催場所：下志津病院 療育訓練室・第1会議室
- 主催：四街道市在宅医療・介護連携支援センター

在宅医療・介護連携支援センターでは、医療介護従事者の連携支援と共に、高齢者の在宅支援の普及啓発として市民公開講座を行っています。今回は、定員40名に対し100件以上ものお申込みがあったため、少しでも多くの方が聴講できるよう、初の試みでしたが、急遽別会場を準備しオンラインで会場をつなぎ2会場での開催となりました。音声の不具合もありましたが、下志津病院副院長である丹野裕和先生の脳梗塞の病態や気を付けるべき症状などのお話に、受講者は熱心に耳を傾け、質疑応答も時間いっぱいまで行いました。



四街道市在宅医療・介護連携支援センター

【市民公開講座】

脳梗塞ってどんな病気?

～診断から治療、リハビリまで～

日時 令和5年12月15日(金) 14:00～15:30

場所 国立病院機構 下志津病院 療育訓練室

講師：国立病院機構 下志津病院
脳神経外科 丹野裕和医師

対象 市内在住・在勤の方 ※受講費無料

持ち物 筆記用具・寒暖対策できるもの
マスク着用での参加を推奨します。

その他 密を避けるため、定員は40名以内とさせていただきますので事前にお申し込みのご連絡をお願いします。
感染症拡大での中止や会場変更等があった場合は申込時にいただいたお電話番号にご連絡いたします。

申し込み・問い合わせ
12月8日(金)までに
在宅医療・介護連携支援センター
☎420-8139





薬剤部だより

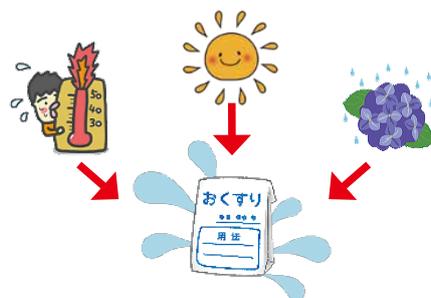


薬の保管方法について・・・・・・・・・・・・・・・・薬剤部長 平野 光枝

みなさんはお薬をどのように保管されていますか？ お薬を適切に保管しないと薬の品質の低下につながる可能性があります。お薬が本来の効果を発揮できるように、いま一度お薬の保管方法を確認しましょう。

■ 高温・多湿・直射日光を避けましょう！

お薬はいろいろな条件により成分が分解されたり、変化したり、品質や効果が低下していきます。薬の劣化に影響を与えるおもな原因は、光、高温、湿気の3つです。保管するときはこれらを避けることが重要です。



■ 薬は冷蔵庫で保管したほうがよい？

一般の錠剤やカプセル剤は**保管方法の指示がない場合には「室温」で保管**しましょう。冷蔵庫で保管すると、取り出したときに室内との温度差で薬に湿気が移りやすくなるためお勧めできません。ただし、シロップ剤や坐薬、インスリン注射など**「冷所保存」の指示がある薬は冷蔵庫で保管**しましょう（お薬の凍結を避けるため、冷蔵庫のとびら付近のポケット内が良いでしょう）。

■ 自動車の中や暖房器具の近くなどに放置しないよう注意しましょう！



■ 子どもの手の届かないところに保管しましょう！

子どもは置いてあった薬を口に入れてしまったり、薬をお菓子と間違えて食べてしまう危険があるので注意しましょう。

■ 古いお薬は捨てましょう！

お薬には使用期限があります。使用期限が過ぎたら、もったいないと思わないで捨てましょう。また、使用期限内でも、いつもと違う見た目や味だと思ったら、使用を控えましょう。**医療用医薬品（病院や調剤薬局でもらったお薬）**： 調剤の方法やお薬の種類によって使用期限の目安が異なります。飲み残しなどがある場合は薬剤師に相談しましょう。

一般用医薬品（OTC 医薬品）： 箱やラベルなどに使用期限が書いてあります。ただし、未開封の場合の期限ですので、開封後は早めに使うようにしてください。

☆彡 お薬の効果を十分に発揮するために、適切な保管を心がけましょう。

☆彡 保管方法でわからないことは、薬剤師に相談してください。

下志津病院 認定看護師紹介



私たちが当院の認定看護師です。



感染管理

根拠に基づいた感染対策を実践し患者さまと病院職員を守ります。



慢性呼吸器疾患看護

患者さまにとって“よい呼吸”をスタッフと協力して支援しております。



感染管理

感染対策の基本は手指衛生です。正しい手指消毒・手洗いができるように日々取り組んでおります。



緩和ケア

緩和ケアはがんだけでなく神経難病など身体だけではない困りごとにも対応しています。



手術看護

手術を受ける患者さまが安心して手術に臨めるように、心掛けています。手術室だけではなく、外来や病棟にも出向いております。



摂食・嚥下障害看護

当院で過ごされる患者さまが日々安心して食事を楽しむ事が出来るよう支援しております。

認定看護師による ビジットレクチャー

日本看護協会では、看護現場でのケアの質の向上を図ることを目的に、特定の看護分野において熟練した看護技術を用いて、水準の高い看護実践のできる認定看護師の育成を行っています。当院では現在、5分野6名の認定看護師が活動しています。

この度、専門的な知識を学んだ認定看護師が地域に出向いて、地域の病院、施設に携わる方を対象に、当院認定看護師によるビジットレクチャーを企画しました。どうぞよろしく願いいたします。お申込み詳細は当院のホームページをご覧ください。

ビジットレクチャー メニュー

認定分野	講座
緩和ケア	①看取りの時期の困りごと ②痛み止めと痛みとの付き合い方
摂食・嚥下障害看護	①食事介助の基本手技（介助方法、ポジショニングなど） ②高齢者の嚥下障害の特徴と対策～高齢者が安全に食べ続けられる支援とは～
感染管理	①感染対策の基本（手指衛生、個人防護具の使用など） ②感染症の予防と対策（インフルエンザ、感染性胃腸炎、COVID-19 など）
慢性呼吸器疾患看護	①呼吸のアセスメント ②息切れのある患者の息切れを軽減できる日常生活のコツ
手術看護	①手術が決まったら行う準備について

医療機器管理室の紹介

医療機器管理室は臨床工学技士4名で業務を行っています。医療機器のメンテナンスや長期に人工呼吸器を装着されている方の点検、マスク・呼吸回路等の調整を行っています。院内だけではなく、在宅に帰られた方を外来にて、マスクの変更や調整、人工呼吸器の設定相談を受け医師と連携し対応しています。

臨床工学技士を当院に配置してから15年目になりますが、その頃は人工呼吸器が70台前後でしたが、現在では100～110台を使用する現状です。15年前より管理する医療機器が増え人員も増えておりますが、これからは医療機器のメンテナンスと長期の人工呼吸器を装着する方への医療の「質」を向上させるため研鑽しながら業務を全うしていきたいと考えております。

受付時間
8:30～11:00

外来診療担当表

独立行政法人 国立病院機構 下志津病院
令和6年1月18日～

区分	月	火	水	木	金
内科 一般内科(月～木) リウマチ科(毎日) 消化器内科(月・水) ○一般内科 初診担当 ●リウマチ科 初診担当	●杉本(初診可) 古川 ○富澤 伊藤 宮林	杉山 篠崎 ●○古川(初診可) 末石 横山(AM)	古川 富澤 ●○黒田(初診可) 眞山	杉山 杉本 ○杉浦 乗本(PM)	●杉山(初診可) 杉本 ●○田宮(初診可) 西村
	アレルギー科(成人)(喘息)				岩本(AM)
呼吸器科			佐野 (第1・3・5 13:00～15:00)		
睡眠時無呼吸外来※			梅岡(PM) (第2・4のみ)		
禁煙外来※			鈴木(修) (15:00～16:00)		
脳神経外科	丹野	石毛/丹野	深谷	丹野	深谷
神経内科		本吉/三方	本吉	田中	本吉/三方
小児神経科※	大村		石原	大村	
小児科 一般小児科(毎日) 喘息・アレルギー (毎日・予約制)※ 代謝(水のみ) 腎臓(水(PM)・木・金) 血管腫(火・予約制)※ ◎神経(水・木・金)※ 肥満(毎日・予約制)※ 成人食物アレルギー (木(PM))	一般 喘息・アレルギー(予約のみ)	一般 喘息・アレルギー・血管腫 (予約のみ)	一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 代謝・神経・腎臓(PM)	一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 神経・腎臓	一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 神経・腎臓
	甲斐 渡邊 佐藤(一) 鈴木(修)(AM) 交代制(女子医大)	重田 山出 仲村 佐藤(一)	山本 山出 ◎吉富(神経) 鈴木(修) 鈴木(由)	◎砂川(神経) 渡邊 佐藤(一) 交代制(女子医大)	◎関谷(神経) ◎石原(神経) 鈴木(修) 須藤
小児内分泌(予約制)		鈴木(由)(PM)	松村(PM)	山出(PM) 金野(内分泌)(PM) (第3のみ)	天野(PM)
外科	白井		白井	長谷川(予約制)	白井
整形外科	篠原 玉井	鈴木(徳) 玉井 江口	交代制 (9:30から診察開始)	鈴木(宗) 玉井 鈴木(徳)	鈴木(宗) 篠原 江口
リハビリテーション科	三方(指定する日)				

以下の診療をご希望の方は地域医療連携室へお問い合わせ下さい。(完全予約制 TEL 043-422-3025(直通))

- ※ 小児神経科の初診の方
- ※ 成人・小児科の食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎・血管腫の初診の方
- ※ 小児科の低身長・甲状腺の病気・思春期早発症(早期に身体が成熟する病気)・糖尿病の初診の方
- ※ 小児科の肥満の初診の方
- ※ 睡眠時無呼吸外来、禁煙外来
- ☆ 小児科 中村(文) 医師に外来受診希望の方は、電話でお問い合わせください。

検査担当医師表

区分	月	火	水	木	金
内視鏡 (予約制)	胃		富澤	長谷川	篠崎
	大腸	長谷川		長谷川・白井(芳)	長谷川・白井(芳)
超音波 (予約制)	腹部	富澤(AM)		篠崎(AM)	富澤(AM)
	関節	山形・乗本(PM)			山形・眞山(PM)
	心臓(成人)	堅田(AM)	筋ジス木村(第3)		
	心臓(小児)			濱田(PM)(第4のみ)	濱田(PM)(第2のみ)

四街道市 健診は第4木曜日14:00から行います。
乳児健診 予防接種・乳児健診予約のお問い合わせは1番窓口と電話にて受付しています。(予約受付 平日13:00～16:00 043-422-3513(直通))

- ・ 精神科・皮膚科・歯科・眼科・耳鼻科は、主として入院患者を診察しています。



ホームページは
こちらへ

第29号
令和6年1月発行

発行責任者 重田みどり
編集委員長 丹野 裕和